



2025年9月1日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード：186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

(開示事項の経過) 日本連結子会社による K Program における人工衛星への燃料補給技術の研究開発 (衛星名：REFLEX-J) の正式受注に関するお知らせ

当社の日本連結子会社である株式会社アストロスケールが、2025年8月29日夜遅くに、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）との間で、協力衛星を対象とした宇宙空間における燃料補給技術の委託研究契約の締結を決議したことをお知らせいたします。なお、2025年1月22日付「[経済安全保障重要技術育成プログラム \(K Program\) における「衛星の寿命延長に資する燃料補給技術」に関する研究開発構想の委託先への採択に関するお知らせ](#)」において、本プロジェクトに関する委託先として採択された旨公表しており、決算説明資料等では「K Program」と記載していたものです。

当社グループでは、将来期待される寿命延長（LEX）サービスの一つである燃料補給サービスの需要拡大を早期に捉え、燃料補給技術の確立を目指し、軌道上サービスの事業機会を拡充させるうえで、本プロジェクトを戦略的に重要なプロジェクトと位置付けております。

1. 本事業の概要

委 託 元：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
研究開発構想：衛星の寿命延長に資する燃料補給技術
公 募 枠：協力衛星を対象とした宇宙空間における燃料補給技術の確立
課 題 名：複数軌道・電気推進への拡張性、国際市場を意図した国産の化学燃料補給技術開発
プロジェクト名：REFLEX-J（リフレックスジェイ）※従前、K Program
サ ー ビ ス：LEX（Life Extension Service：寿命延長・燃料補給サービス）
予 算 総 額：108億円（税抜）※1
実 施 期 間：研究開発開始から原則5年（60ヶ月）以内
契 約 金 額：5.9億円（税抜）※2
契 約 期 間：2026年3月末まで ※2

※1：本件の案件規模は、従前公表していた「総額最大120億円（109億円（税抜）、間接経費を含む。）」から変更ありません。共同研究者への支払い分を除いた金額が108億円（税抜）となります。

※2：契約期間は、以後4月1日に変更契約にて1年ずつ期間延長され、契約金額総額は上記予算総額

108 億円（税抜）となる予定です。受注残高は 5.9 億円を受注済残高とし、残りは従前通り受注内定済残高として表示いたします。

本件は、2025 年 8 月 29 日夜遅くに株式会社アストロスケール取締役会にて契約締結に関する決議を行っており、本日契約締結いたします。

本事業では、当社グループがこれまで獲得してきた RPO（Rendezvous and Proximity Operations、ランデブ・近傍運用）技術を土台に、ロボティクス技術、コンピュータビジョン技術・燃料移送技術を組み合わせて低軌道での化学燃料補給実証を行うとともに、さまざまな推進剤にかかる地上検証等により、静止軌道や電気推進の燃料補給への拡張性も視野に入れた研究開発を実施します。

2. 今後の見通し

本件は、2026 年 4 月期通期の連結業績予想の前提に含めており、初年度の契約金額である 5.9 億円（税抜）は当初の想定通りです。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに情報開示いたします。

以上